

「Well-being（幸せ）を保障する教育」の実現を目指して

# 学びの道しるべ

～「令和6年度全国学力・学習状況調査」の結果より～

「令和6年度全国学力・学習状況調査」（令和6年4月18日実施）のさいたま市の結果について、お知らせします。

御家庭等において、子どもたちの日々の生活や学習の状況を振り返り、よりよい生活や学習の習慣について話し合う際に、本リーフレットをお役立てください。

児童生徒・保護者向けリーフレット（中学校版）



全国の  
調査結果

国立教育政策研究所ホームページ



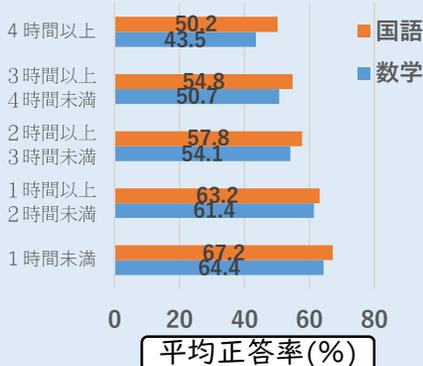
さいたま市  
の調査結果

さいたま市立教育研究所ホームページ

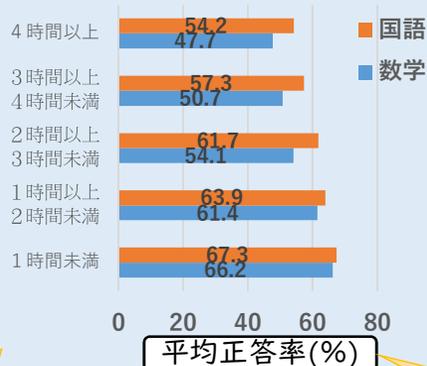
## 「令和6年度全国学力・学習状況調査」生徒質問調査 さいたま市の結果より

質問調査「普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか」及び「普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）」の回答の状況と「教科に関する調査」における各教科の正答率とのクロス集計では、以下のような結果が示されました。

テレビゲームの時間



SNSや動画視聴の時間

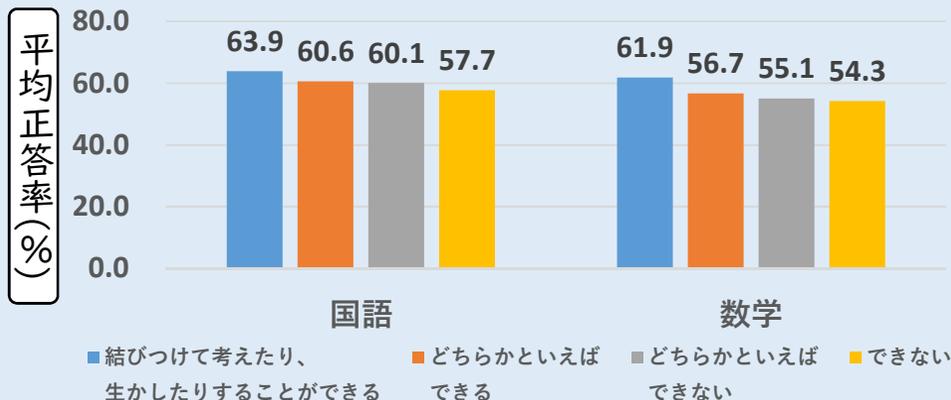


テレビゲームやSNS  
動画視聴の時間が短い生徒ほど  
正答率が高くなる傾向にある！

自分のテレビゲームやSNS、動画視聴の時間を  
振り返って、めやすを考えてみよう！



質問調査「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか」の回答の状況と「教科に関する調査」における各教科の正答率とのクロス集計では、以下のような結果が示されました。



学んだことを次の学習や実生活に  
「結びつけて考えたり、生かしたり  
する」ことができる生徒ほど  
正答率が高くなる傾向にある！

学んだことを実生活に  
「結びつけて考えたり、  
生かしたりする」ことが  
できるかな？



裏面へ



## 例題 令和6年度調査問題 中学校数学 大問8より



日常生活や社会の事象にも見られる、関数についての問題を例に考えてみましょう！

- 8 第一中学校の文化祭では、会場の体育館を暖めるために、灯油を燃料とする大型のストーブを設置します。文化祭当日は、体育館を6時間使用します。文化祭の実行委員の結衣さんは、18 Lの灯油が入ったストーブの使用計画を立てることになりました。ストーブの説明書には、次の情報が書かれています。

### 説明書の情報

ストーブの設定	強	弱
1時間あたりの灯油使用量(L)	4.0	2.5

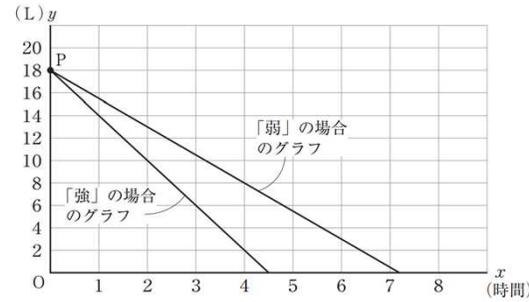
結衣さんは、ストーブを6時間使用して、18 Lの灯油をちょうど使い切るように、「強」と「弱」の設定の組み合わせを考えることにしました。そのために、18 Lの灯油が入ったストーブの「強」の場合と「弱」の場合について、ストーブの使用時間と灯油の残量の関係を調べることにしました。

そこで、結衣さんは、説明書の情報の1時間あたりの灯油使用量は常に一定であるとし、ストーブを使用し始めてから $x$ 時間経過したときの灯油の残量を $y$  Lとして、「強」の場合と「弱」の場合の $x$ と $y$ の関係をそれぞれ $y = 18 - 4x$ 、 $y = 18 - 2.5x$ と表しました。そして、この2つの式をそれぞれ $y = -4x + 18$ 、 $y = -2.5x + 18$ と表し直し、次のページのようなグラフをかきました。

ストーブの使用時間と灯油の残量

「強」の場合の式  $y = -4x + 18$

「弱」の場合の式  $y = -2.5x + 18$



ストーブを使用し始めてから18Lの灯油を使い切るまでの「強」の場合と「弱」の場合の使用時間の違いがおよそ何時間になるか、式またはグラフのいずれかを用いて説明してみよう！



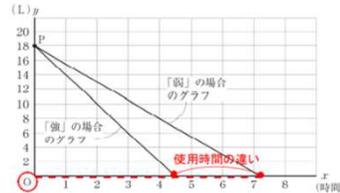
式を用いる場合は、

「強」の場合の式 ( $y = -4x + 18$ ) と「弱」の場合の式 ( $y = -2.5x + 18$ ) のそれぞれに $y = 0$ を代入して $x$ の値を求め、その差を求めることで説明できます。

(「弱」の場合 7.2時間 - 「強」の場合 4.5時間 = 2.7時間)

グラフを用いる場合は、

「強」の場合のグラフと「弱」の場合のグラフについて、 $y$ の値が0のときの $x$ の差を求めることで説明できます。



日常生活にも見られるストーブの使用時間( $x$ )と灯油の残量( $y$ )の関係を、一次関数( $y = ax + b$ )と捉えることで、灯油を使い切る( $y = 0$ になる)までの時間を式またはグラフを用いて説明できるね！

## 類題 平成30年度調査問題 中学校数学B 大問3より

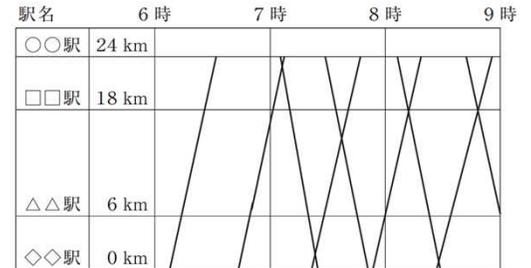
左の例題をクリアしたら類題にも挑戦してみよう！



【図景】  
読解

- 3 太一さんは、自分の地域を走る列車の写真を撮影し、紹介しようと考えています。そこで、ダイヤグラムを参考にして、撮影計画を立てることにしました。

ダイヤグラムとは、下のように、横軸を時刻、縦軸をある駅からの道のりとし、駅と駅間の列車の運行のようすを直線で表したものです。



- (1) ダイヤグラムでは、列車の運行のようすが直線で表されています。このように直線で表しているのは、次のように考えているからです。

列車の運行のようすを直線で表しているのは、 が一定であると考えているからです。

上の  に当てはまる言葉として正しいものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

- ア 列車の速さ
- イ 列車の出発時刻
- ウ 列車の到着時刻
- エ 列車の走行距離

このような関数の関係が見られる日常生活や社会の事象は他にないか、探してみよう！

